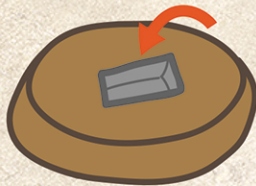


2分でわかる古墳のはなし

古墳とは、3世紀中頃から7世紀にかけて造られた墳丘をもつお墓で、古墳が造られた時代を「古墳時代」と呼びます。当時の社会は、畿内地域に大きな力をもった勢力(ヤマト政権)を中心に、各地の権力者(首長)同士が結びついていた時代でした。権力者や地域の上下関係を大きなお墓を使って表現した社会が古墳時代の特徴です。また、この時代は、中国や朝鮮半島をはじめとした東アジアの国々と交流がありました。大陸からやってきた人(渡来人)や馬、窯で焼いて作るやきもの(須恵器)などの新たな文化・技術・モノを受け入れた、グローバル化した時代でもありました。

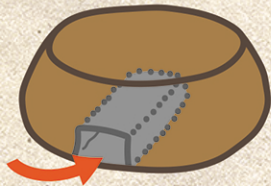
縦穴式石室

墳丘の上から土坑(穴)を掘り込み、粘土や石で床を造ったせまい部屋。石を積んで壁を造り、最後に天井石をのせて粘土で覆い、閉鎖します。



横穴式石室

墳丘を造りながら石室を造ります。石室とは、墳丘側面に出入口をつくり、大きな石を積んで造った部屋です。棺を納める玄室とそこに通じる羨道で構成されます。埋葬後に羨道入口を閉塞石で閉鎖します。出入りできるので、複数回の埋葬(追葬)が可能です。



古墳見学のススメ

動きやすく、体温調節のできる服装がオススメ。(登山やハイキングの服装)
歩きやすい靴や登山靴で行きましょう。帽子も忘れずに!



もちもの



この他必要なものを適宜持って行きましょう

①古墳に出会う

古墳さぐるくんと行く古墳探し!



大抵は草木に埋もれています。よく目を凝らして探しましょう。見つけたら、まず遠くから観察しましょう。

チェックポイント

- ・大きさ、高さ
- ・石室の入り口と向き

②石室を見る



巨石を積んだものなので、危険な石室もあります。外から懐中電灯を当て、覗くだけにしましょう。

チェックポイント

- ・石の大きさ、積み方の観察
- ・カマドウマヤコウモリに注意

③墳丘に登る



史跡など登ることを許可されている古墳は墳丘に登り、墳頂ビューを見てみましょう。危険な古墳は登らず、景色を想像しましょう。

チェックポイント

- ・眺めの良いところに古墳は多い。何故だろう…